

# 研究彙報 (昭和60年1月〜同12月)

## ●特別展覧会 (○印は共催)

### ○中国陶俑の美

会期 一月五日(土)―二月二十四日(日)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館・日本中国文化交流協会・朝日新聞社

中国陝西省・山西省・河南省・四川省で出土し、十三の博物館に所蔵される一五四点の陶俑によって、中国の多彩な俑の歴史をたどってみた。

### ○大徳寺名宝展

会期 四月九日(火)―五月十二日(日)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館・日本経済新聞社

大徳寺開山大燈国師没後六百五十年諱にあたり、それに因んでの特別展。一山の秘庫が開かれ、国宝観音猿鶴図をはじめ、未公開の茶の名器など国宝十二件、重要文化財五六件を含む一四五件を展観。

### 日本の染織―技と美―

会期 十月八日(火)―十一月十日(日)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館

染織における美と技法の不可分な関係に注目し、出土した先史時代の染織関係遺品から近世まで、染織の万般を約二百三十件選りすぐって展観。また、染の顔料・色見本をも展示して高評を受けた。

## ●特別展観

### 妙心寺の障屏画

会期 三月十二日(火)―四月十四日(日)

## ●特別陳列 (▽印は毎年の定例的な陳列)

▽鉄斎 一月四日(金)―二月三日(日)

新館九号室 担当・金沢 弘

鉄斎二十九才から没年の大正十三年、八十九才まで、全生涯にわたる作品を陳列。

中国古代の俑―館藏品・寄託品を中心に― 一月四日(金)―三月十日(日)

新館四号室 担当・河原正彦

特別展覧会「中国陶俑の美」に合わせて館蔵・寄託品の中国陶俑の名品五十点を陳列。

▽高台寺時絵と南蛮漆器 一月四日(金)―二月三日(日)

新館十五・十七号室 担当・灰野昭郎

桃山時代の時絵を代表する斬新で簡潔な意匠の高台寺時絵と、当時ヨーロッパへ輸出した南蛮漆器を展示。

▽人形 三月一日(金)―四月七日(日)

新館十四号室 担当・切畑 健

雛祭にちなみ、京都で製作された各種の代表的な人形を陳列。

▽新収品展 五月二十九日(水)―六月三十日(日)

新館十五・十六・十七号室

昭和五十九年度に管理換・購入・寄贈をうけ、館藏品となった作品を展示。

若冲 七月三十一日(水)―九月一日(日)

新館十一・十二号室 担当・狩野博幸  
館蔵若冲筆「群鶏図」(壁貼付・襖貼付絵)の修理が完成したのを機会に、若冲の全面業をうかがうに足る作品を陳列。米国心遠館コレクションの作品も併陳。

社寺絵図とその文書 七月二十三日(火)―九月一日(日)

新館十三号室 担当・灘波田徹 下坂 守

中世から近世に盛んに描かれた神社絵図・寺院絵図とその制作に関連する

古文書、古記録を併陳。

井伊家伝来の刀装 十月十六日(水)―十一月二十四日(日)

新館十六号室 担当・稲田和彦

旧彦根藩主井伊家に伝来した歴代の差料の刀装具を展覧。大小拵・鐔・小柄・笄などの種々の材料及技法、また把糸や下緒の色彩豊かな組紐など近世諸工芸の粹を展示。

## 出版刊行

『京都国立博物館蔵品図版目録 染織・漆工編』 京都国立博物館 昭和六十年三月

昭和六十年三月三十一日現在で当館が保管している染織・漆工部門の作品四七五件を収録。A4版 単色図版五六九図 領価四千元

『山水』 京都国立博物館 昭和六十年三月

昭和五十九年度特別展覧会「山水―思想と美術」に出品の作品を中心とした図録で論文七篇、図版解説、英文概説、目録を収める。B4版 図版原色四三図 単色一〇七図 領価三万円。

『京都国立博物館 学叢』第七号 京都国立博物館 昭和六十年三月

京都国立博物館職員による研究紀要。論文二篇、作品研究二篇、資料紹介一篇、修理報告一篇、特別寄稿文一篇、研究彙報、昭和五十九年館員執筆物一覽、英文概要などを収録。A4版 図版原色三三図、単色四十四図、領価三千円。

『研究発表 宗教思想と山水表現』 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書と座談会 第十三冊 昭和六十年三月

昭和五十九年十月十四日に行われたシンポジウムの要約。A4版、研究発表五十五頁、座談会十一頁、単色図版二十七図、領価八百円。

『京都社寺報告』5号 京都国立博物館、昭和六十年三月

京都国立博物館が昭和五十九年度に実施した京都社寺調査報告書。本年度は地域寺院調査(伏見区、龍源寺・西蓮寺・宝円寺・心光寺・大信寺)、特定寺院調査(尊勝院・真正極楽寺)。A4版、単色図版四十六図、本文五十二頁、非売品。

『大徳寺の名宝』 特別展覧会目録 京都国立博物館 昭和六十年四月

昭和六十年四月九日から五月十二日までを会期とした特別展覧会「大徳寺名

宝」の概説および解説付総目録。B5版、総頁数二一五、収録図版原色十二図、単色一四五図、領価千八百円。

『妙心寺の障屏画』 特別展覧会目録、京都国立博物館 昭和六十年三月

昭和六十年三月十二日から四月十四日までを会期とする特別展覧会「妙心寺の障屏画」の概説および解説付総目録。B5版、総頁数一〇一頁、収録図版原色八図、単色四十一図、領価千円。

『日本の染織―技と美―』 特別展覧会目録、京都国立博物館 昭和六十年十月  
昭和六十年十月八日から十一月十日までを会期とする特別展覧会「日本の染織―技と美―」の概説および解説付総目録。B5版、総頁数二十二頁、収録図版原色八図、単色二五八図、領価千円。

## ●シンポジウム

研究発表と座談会「仏教美術における「荘嚴」」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会(代表 林屋辰三郎)

期日 十月二十八日(月)

会場 京都国立博物館

参加者 六十名

研究発表 インド・中央アジア(肥塚 隆)・中国(清水善三)・日本―仏像の荘嚴―(井上 正)・日本―舍利の荘嚴―(河田 貞)・日本―荘嚴における染織品―(切畑 健)  
座談会(司会 田村隆照)

## ●国内における調査研究

仏像荘嚴の思想とその様式展開 担当・井上 正

釈迦金棺出現図の構成要素に関する基礎的研究 担当・泉 武夫

島原・角屋の文化財調査 担当・狩野博幸・下坂 守ほか

京都府下の社寺調査 担当・灘波田徹・伊東史朗

## ●海外における調査研究および出張

切畑 健 昭和六十年一月二十三日―二月九日(行先 インド・タイ)

特別展「日本の染織」の事前調査。

若杉進治 昭和六十年二月十五日―四月十一日(行先 アメリカ合衆国)

特別展「近世水墨画展」 出品文化財随伴。

泉 武夫 昭和六十年三月十九日～同月二十六日（行先 大韓民国）

韓国の仏教美術に関する調査。

河原正彦 昭和六十年五月二十二日～八月十日（行先 スウェーデン王国）

特別展「日本陶磁名品」 出品文化財の随伴。

西上 実 昭和六十年八月十二日～同月二十二日（行先 アメリカ合衆国）

特別展「優雅な争い乾隆帝時代の中国絵画一七三五―一七九五」 出品文化財の随伴。

西上 実 昭和六十年十月十一日～同月二十七日（行先 中華人民共和国）

中国絵画調査及び史跡調査。

若杉準治 昭和六十年十月二十七日～十一月十六日（行先 フランス・ドイツ

連邦共和国・アメリカ合衆国）

特別展「絵巻」の事前調査及び文化財調査。

伊東史朗 昭和六十年十一月九日～同月二十二日（行先 大韓民国）

韓国の仏像美術に関する調査。